



# 倉田春彦のFP通信

for Executives



キーパーソンのためのお金のはなし  
「新たな年を迎えて」

いつもご愛顧とご信頼をお寄せいただきありがとうございます。2017年は皆さまにとってどのような一年でしたでしょうか。振り返ると、災害大国の日本は

九州北部豪雨をはじめ、2017年も数々の自然災害に見舞われました。被災された皆さま、関係者の皆さまにはこの場を借り心よりお見舞い申しあげます。



## 「定期試験」と「新年の目標」

さて、新年の目標や計画はもう心に決められましたでしょうか。

これは中学生のお子をお持ちのとある親御さんの話です。いつも机に向かっているお子さまですが、「定期試験は準備が毎度計画通りに進まず残念な結果」とは親御さん。不思議に思って様子を観察してみたら、いくつかの問題点が見えてきたそうです。

そのひとつは、宿題という目の前の課題にたっぷり時間をかけ過ぎ、それでいつも勉強をした達成感に浸っているようだということです。頑張り屋さん

のお子さまの様子は微笑ましく感じるそうですが、ちょっともったいないなどを感じたそうです。

翻って考えると、これは私たち大人にもあてはまりですね。たとえば、目標や計画が思い通りにいかないとしたら、その理由のひとつはここにあるかもしれません。つまり…

私たちには「やりたいこと」と「やらなければならないこと」、「将来の目標」と「目の前の課題」があります。ですが、現実は「やらなければならないこと」や「目の前の課題」の方が優先されてし

まいがち。さらに、この「やらなければならないこと」「目の前の課題」はとても多いというのが、もうひとつの現実ではないでしょうか。

限りある人生、夢や目標の実現には時間配分とその管理が不可欠です。時間を上手にやり繰りして、家庭人・社会人としての責任と義務を果たしつつ、夢や目標のための時間もしっかりと確保する。「限られた時間」をより有意義に使うことこそが、時間管理の究極の目的かもしれません。

## 「お金を管理する目的は？」

お金も同様です。家計、資産運用、資金繰りや予算管理など、目先の帳尻



合わせにばかり目が向いていませんか。教育、マイホーム、老後、独立開業、事業計画など大きな目標をしっかり見据え、目先の金利や節約手法などに振り回されず、お金も時間同様にしっかりマネジメントしたいですね。

最後になりましたが、新年もどうぞよろしくお願ひいたします。今後もお金と保険のことは引き続き私にお任せください。



こんな時は私までご連絡ください

## プロが指南する「魅力アップ講座」 角度にとらわれ過ぎない



誰もが日常的に行っているお辞儀。特に意識をせず頭を下げている方が少なくないと思いますが、時々ハッとするくらい印象的なお辞儀に出会うことがあります。

### 「お辞儀の基本といえば…」

お辞儀は、挨拶や感謝、謝罪、敬意などの気持ちを形で表したものと考えると、やはりその基本の形をマスターしておくに越したことはありません。

一般的なお辞儀の種類には、すれ違う時などに使う会釈(15度)、最も多くのシーンで行う敬礼(30度)、お詫びや深い感謝、敬意を表す最敬礼(45度)の3つがあり、「これらを使い分けましょう」とビジネスマナーでは言われます。

### 「印象に残るお辞儀のコツ」

でも、角度にとらわれ過ぎてお辞儀を深くするだけでよしとしているしたら少しもったいないかもしれません。

お辞儀の流れ(除、謝罪の時)は、①お辞儀の前に相手とアイコンタクト

を交わし、にっこり微笑んで、②「ありがとうございました」と言葉で感謝の気持などを伝えます。③次にお辞儀。上体を倒したらピタッと一呼吸動作を止めるとメリハリがあります。④上体を起こす時はゆっくりと。⑤最後に相手とアイコンタクト+笑顔です。

謝罪時などを除き、こちらがお辞儀をしている時は、先方もお辞儀をしていますね。つまり、相手がこちらをしっかりと視界に収めているのは、お辞儀の前と後なのです。ですから、お辞儀の前後のアイコンタクトや表情の方が、お辞儀の角度より実は印象に残りやすいのです。

とりわけお辞儀の後の2度目のアイコンタクトは印象アップに効果大。反対に、お辞儀の後に中途半端な表情を向けると、相手の気持を興ざめさせてしまうかもしれません。

### 「臨機応変に」

お辞儀には、「先に言葉、その後にお辞儀」と言う意味の「分離礼(語先後礼)」と、一緒に行う「同時礼」があります。分離礼は「動作を重複させない」というマナーの基本に通じ、丁寧な印象を相手に与えます。

しかし、それがいつも最適とは限りません。ゆとりがある時は分離礼、急いでいる時は同時礼で素早く終わらせるのもまた相手に対する気遣いかかもしれません。

ただし、どんな時も前後のアイコンタクトは忘れずに。



#### 【講師紹介】茂木 ゆみ(Excellent Heart 代表)

国内航空会社にグランドスタッフとして通算17年間勤務。皇族、国会議員、大手企業トップ等のVIP接遇を4万回以上経験する。現在は企業向けのマナー講師、個人向けの品格アップ・パーソナルコンサルタントとして活動中。

## column『初午(はつうま)』～おいなりさん派？いなり寿司派？～

初午(2月最初の午の日、2018年は2月7日)には稻荷神社で豊作、商売繁盛、家内安全などを祈願する祭りが行われます。

稻荷神社には稻荷神(いなりのかみ・いなりしん)が祀られており、シンボルとして有名な狐はその「使い」です。

稻荷神は穀物の神様で、もとは「稻

生(いねなり)」と呼ばれていたものが「いなり」と縮まったのだとか。

初午の縁起の良い食べ物と言えば「いなり寿司」。狐の好物とされる油揚げに、稻荷神のお陰でもたらされた米(酢飯)を詰めてお供えしたのがその始まりと言われます。

ところで、いなり寿司には東西で形に違いがあるのをご存知ですか？

東日本では米俵を真似た俵型、西日本では狐の耳の形に見立てた三角形が主流です。また、呼び方にも違いがあり、東日本では「いなり寿司」、西日本では「お稻荷さん」と呼ぶ傾向があるようです。

